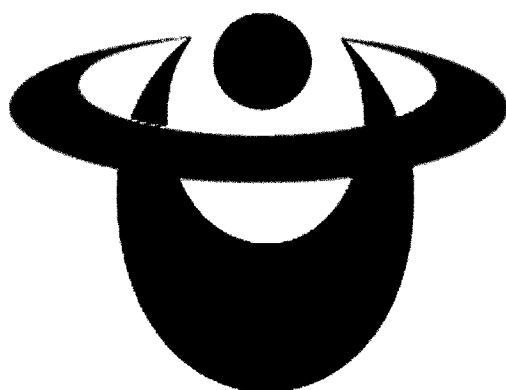


教育に関する事務の管理及び執行の  
状況の点検及び評価結果報告書

(令和3年度分)



時と水ゆったり流れる  
**平川市**

令和4年12月  
平川市教育委員会



## はじめに

平川市教育委員会は、「あふれる笑顔 暮らし輝く 平川市」の実現に向けて、未来を切り拓く子どもたちの育成、生涯にわたるスポーツライフの推進、知識と経験があふれる生涯学習の推進、感性をはぐくむ芸術文化の振興に努め、「郷土への愛着と誇りを持ち、健やかで、こころ豊かなひとづくり」を目指した教育を推進しています。

その中で、令和3年度は、第2次平川市長期総合プランの5年目に当たり、魅力あるひとづくりを基本目標に、健やかなひとづくりとこころ豊かなひとづくりの基本政策に則し、教育施策の推進に努めてまいりました。

本報告書は、当該年度に実施した事務事業について点検及び評価した結果をとりまとめたものであり、作成に当たっては、地方教育行政の組織及び運営に関する法律に基づき、点検及び評価の客観性を一層確保するため、各分野に精通した学識経験者の意見を求め、それを反映させました。

本報告書は、議会へ提出するとともに、公表することで、市民への説明責任を果たし、今後の教育施策の更なる充実につなげてまいりたいと考えております。

市民の皆様には、本報告書をご覧いただき、本市の教育に対する取組みについてご理解を深めていただければ幸いです。

今後も、市民の皆様にご信頼される教育行政を推進してまいりますので、より一層のご理解とご協力をお願いいたします。

令和4年12月

平川市教育委員会

### 地方教育行政の組織及び運営に関する法律（抄）

（教育に関する事務の管理及び執行の点検及び評価等）

第26条 教育委員会は、毎年、その権限に属する事務（前条第1項の規定により教育長に委任された事務その他教育長の権限に属する事務（同条第4項の規定により事務局職員等に委任された事務を含む。）を含む。）の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、これを議会に提出するとともに、公表しなければならない。

2 教育委員会は、前項の点検及び評価を行うに当たっては、教育に関し学識経験を有する者の知見の活用を図るものとする。

# 目 次

1	令和3年度教育委員会の活動状況	
(1)	教育委員構成	1
(2)	教育委員会会議状況	1
(3)	その他の活動状況	4
2	教育委員会における事務の点検・評価	
(1)	自己点検・評価の実施状況	5
(2)	具体的な点検・評価の方法	5
3	教育に関する事務の管理及び執行状況の点検・評価	
(1)	シート1	
	教育委員会が管理及び執行する事務	6
(2)	シート2	
	教育委員会が管理及び執行を教育長に委任する主な事務	7
(3)	事務事業評価表	8～28

## 1 令和3年度教育委員会の活動状況

期間：令和3年4月1日～令和4年3月31日

### (1) 教育委員構成

教育行政における責任体制の明確化など、教育委員会改革として「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」が平成27年4月に改正され、教育長と教育委員長の仕事を一本化した、新教育委員会制度が始まりました。

平川市では、平成30年2月26日に教育長が市長より任命され、新教育委員会制度に移行しております。

令和3年4月1日現在

職名	氏名	任期	備考
教育長	須々田 孝 聖	令和3年2月26日～令和6年2月25日	(1期)
委員	工 藤 甚 三	平成31年3月8日～令和5年3月7日	(3期)教育長職務代理者
委員	葛 西 万 博	平成30年2月26日～令和4年2月25日	(2期)
委員	駒 井 優 子	平成29年6月11日～令和3年6月10日	(2期)
委員	中 嶋 静 賢	令和2年2月25日～令和6年2月24日	(1期)
委員	加 藤 恒 有	令和3年3月6日～令和7年3月5日	(1期)

令和4年3月31日現在

職名	氏名	任期	備考
教育長	須々田 孝 聖	令和3年2月26日～令和6年2月25日	(1期)
委員	工 藤 甚 三	平成31年3月8日～令和5年3月7日	(3期)教育長職務代理者
委員	葛 西 万 博	令和4年2月26日～令和8年2月25日	(3期)
委員	中 嶋 静 賢	令和2年2月25日～令和6年2月24日	(1期)
委員	加 藤 恒 有	令和3年3月6日～令和7年3月5日	(1期)
委員	工 藤 泰 子	令和3年6月11日～令和7年6月10日	(1期)

### (2) 教育委員会会議状況

毎月（原則第4火曜日開催）の定例会を計12回開催しました。また、令和4年3月には、平川市教育委員会職員の人事異動について臨時委員会を開催しました。

議案及び資料については、平川市教育委員会の事務の委任等に関する規則に則し、案件の整理を行い、議案様式を統一するなど会議運営について工夫しました。

また、審議が長時間にわたる場合は資料の事前配布等工夫を行い、より慎重な審議を行いました。

会議終了後は、教育委員会の透明性・公平性を図る観点から、会議録を作成し、市ホームページで公開しました。

会議	開催日時	議案番号等	内容	結果
第4回 定例会	4月20日 13:30~	報告第10号 議案第10号 議案第11号 議案第12号 議案第13号 各課報告 各課報告	平川市学校施設の長寿命化計画について 市内小・中学校の夏季一斉閉庁について 令和3年度奨学金新規貸与者の決定について 平川市教育支援委員会委員の委嘱について 平川市社会教育委員の委嘱について 令和3年度南地方市町村教育委員会連絡協議会総会資料について 令和3年度学校給食費無償化の実施について	承認 可決 可決 可決
第5回 定例会	5月25日 13:30~	報告第11号 議案第14号 各課報告 各課報告	社会教育委員の委嘱について 平川市学校給食センター運営委員会委員の委嘱について 平川市学校給食費等助成金交付要綱について 指導課主催事業内容等の見直しについて	承認 可決
第6回 定例会	6月22日 13:30~	報告第12号 報告第13号 報告第14号 報告第15号 議案第15号 各課報告	放棄した私債権の報告について 令和3年度教育費等4月補正予算について 令和3年度教育費6月補正予算について 工事の請負契約について 平川市スポーツ推進審議会委員の委嘱について 令和4年度以降の成人式について	承認 承認 承認 承認 可決
第7回 定例会	7月27日 13:30~	議案第16号 各課報告	平川市奨学金貸与条例施行規則の一部を改正する規則案について 東北中学校ソフトボール大会事業費補助金交付要綱について	可決
第8回 定例会	8月24日 13:30~	各課報告	日程等	
第9回 定例会	9月28日 13:30~	報告第16号 議案第17号 各課報告	令和3年度教育費等9月補正予算について 令和4年度使用中学校用教科用図書採択について 青森県交流籍制度について	承認 可決
第10回 定例会	10月26日 13:30~	各課報告	日程等	
第11回 定例会	11月25日 13:30~	議案第18号 議案第19号 各課報告	教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価について 教育財産（ひらかわドリームアリーナ駐車場用地）の取得に係る申し出について 平川市教育委員会表彰規則の運用要綱について	可決 可決
第12回 定例会	12月21日 13:30~	議案第20号 議案第21号 各課報告	平川市学校運営協議会規則（案）について 令和3年度平川市教育委員会被表彰者の決定について 令和4年平川市教育委員会開催日程（案）について	可決 可決

会議	開催日時	議案番号等	内容	結果
第1回 定例会	1月25日 13:30~	報告第1号	平川市小学校及び中学校設置条例の一部を改正する条例案	承認
		報告第2号	平川市自然の森の指定管理者の指定及び指定管理者の管理の期間について	承認
		報告第3号 各課報告	令和3年度教育費等12月補正予算について 住所異動等に伴う区域外等就学者一覧（令和3年分）	承認
		各課報告	平川市教育情報セキュリティポリシーについて	
第2回 定例会	2月16日 13:30~	議案第1号	令和4年度学校教育指導の方針と重点(案)について	可決
		議案第2号	令和4年度社会教育行政の方針と重点(案)について	可決
		議案第3号	令和4年度平川市図書館運営の方針と重点(案)について	可決
		議案第4号	令和4年度スポーツ行政の方針と重点(案)について	可決
		議案第5号	令和4年度平川市学校給食センター運営の方針と重点(案)について	可決
		議案第6号	平川市スポーツ推進計画(案)について	可決
		議案第7号 各課報告	県費負担職員の人事異動について 令和3年度平川市立小・中学校卒業式告辞について	可決 可決
		各課報告	令和3年度平川市立小・中学校卒業式日程について	
第1回 臨時会	3月18日 15:00~	議案第8号	平川市教育委員会職員の人事異動について	可決
第3回 定例会	3月24日 13:30~	報告第4号	財産の取得について	承認
		報告第5号	令和4年度教育関係当初予算について	承認
		報告第6号	令和3年度教育費3月補正予算について	承認
		報告第7号	平川市公民館条例の一部を改正する条例案について	承認
		議案第9号	平川市教育振興計画(案)について	可決
		議案第10号	平川市教育委員会公印規則及び平川市公民館条例施行規則の一部を改正する規則案について	可決
		議案第11号	平川市教育委員会公印規則の一部を改正する規則案について	可決
		議案第12号 議案第13号 各課報告	平川市文化財保護審議会委員の委嘱について 平川市郷土資料館運営協議会委員の委嘱について 令和4年度平川市立小・中学校入学式祝辞について	可決 可決
各課報告	令和4年度平川市立小・中学校入学式日程について			

会議	開催日時	議案番号等	内容	結果
第3回定例会	3月24日 13:30~	各課報告 各課報告 各課報告 各課報告	平川市立小学校及び中学校情報管理運用規程について 平川市立小学校及び中学校G I G Aスクール学習者用タブレット運用規程について 平川市交流籍制度実施要項について 平川市地区公民館運営協力員設置規程を廃止する訓令	

### (3) その他の活動状況

#### ① 市議会定例会等への出席

教育長が、本会議、一般質問、常任委員会、臨時会等に出席し、必要に応じて教育行政に関する答弁を行いました。

#### ② 学校訪問について

学校運営の実態把握を目的として、小学校9校、中学校4校の学校訪問を年2回（前期・後期）実施し、学校経営方針を中心に校長、教頭及び教務主任と意見交換を行いました。

また、各中学校区内の小・中学校の連携強化のため、現状や課題について意見交換をし、共通認識を深めました。

##### 前期

訪問日	訪問校等
5月14日	金田小学校、猿賀小学校、竹館小学校
5月18日	碓ヶ関小学校、碓ヶ関中学校、大坊小学校
5月19日	尾上中学校、松崎小学校
5月20日	柏木小学校、平賀東中学校、平賀東小学校
5月21日	小和森小学校（中止）、平賀西中学校

##### 後期

訪問日	訪問校等
11月4日	柏木小学校、碓ヶ関小学校、碓ヶ関中学校
11月5日	松崎小学校、平賀西中学校、猿賀小学校
11月9日	金田小学校、平賀東中学校、小和森小学校、平賀東小学校
11月12日	竹館小学校、尾上中学校、大坊小学校

#### ③ その他行事について

入学式・成人式・表彰式等の式典等の諸行事に積極的に参加予定でしたが、新型コロナウイルス感染予防等の対策により入学式だけの出席となりましたが、その中でも子どもたちの教育活動の現状把握に努めました。

また委員としての幅広い識見を養うため、委員同士の情報共有を行い、本市の教育行政の資質向上に努めました。



## 2 教育委員会における事務の点検・評価

### (1) 自己点検・評価の実施状況

#### ① 学識経験を有する者の活用

地方教育行政の組織及び運営に関する法律第26条第2項の規定に基づき、学識経験を有する方の知見を活用するため、令和4年10月31日に「点検評価アドバイザー会議」を開催。

「点検評価アドバイザー」からいただいた意見を本報告書の原案作成に反映させました。

※令和4年度点検評価アドバイザー

村上 薫 氏〔元平川市立平賀東中学校長〕

成田 裕一 氏〔NPO法人平川市スポーツ協会理事長〕

#### ② 点検・評価

地方教育行政の組織及び運営に関する法律第26条第1項の規定に基づき、令和4年11月の教育委員会において、点検及び評価を行いました。

### (2) 具体的な点検・評価の方法

点検・評価は、次のとおり行いました。

① 教育委員会の令和3年度の活動状況について、本報告書にまとめて点検を行いました。

#### ② シート1

教育委員会が管理・執行する事務（教育委員会の会議に諮られる事項）について、進捗状況や、会議での審議状況を踏まえて点検を行いました。

#### ③ シート2

教育委員会が管理・執行を教育長に委任する主な事務事業について、その成果等を踏まえ、AからDの評価を行いました。

評価の基準

達成度	評価内容
A	達成している（100%）
B	ほぼ達成している（80%以上）
C	おおむね達成している（60%以上）
D	達成していない（59%以下）

### 3 教育に関する事務の管理及び執行状況の点検・評価

(シート1)

#### 1 教育委員会が管理及び執行する事務

項目	点検
(1) 教育行政の基本方針を決定すること	教育行政の運営に関する一般方針については、年度末に教育委員会で各課の方針と重点を定め、「平川市の教育」の中で平川市教育委員会主要施策として公表している。各課では、方針に基づいて、教育行政の運営に努めた。
(2) 教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価に関すること	教育委員会の活動、教育委員会が管理・執行する事務と教育委員会が管理執行を教育長に委任する事務等について、点検評価アドバイザーの意見を参考に点検・評価を行い、教育委員会で承認を受け、議会に提出した。また、市ホームページに掲載し周知した。
(3) 学校、公民館、図書館その他の教育機関の設置及び廃止を決定し、並びにその敷地を選定すること	該当事例なし
(4) 1件の予定価格が500万円を超える教育財産の取得を市長に申し出ること	教育委員会関係の財産の取得について、教育委員会に諮り、意見を求めた。
(5) 県費負担教職員の懲戒及び県費負担教員たる校長の任免その他の進退について内申すること	学校管理運営規則及び学校職員服務等に関する規程に基づき、服務規律等の確保に努めた。また、毎月開催の定例校長会において、定期的に服務規律のマニュアルを提示し、具体的に指導し、交通違反、交通事故、体罰等の防止に努めた。 更には、校長の任免について、教育委員会に諮った。
(6) 教育長、事務局長、課長、館長、施設長及び所長の任免その他の人事に関すること	教育委員会職員の人事異動に関し、教育委員会に諮った。
(7) 教育委員会規則を制定し、又は改廃すること	教育委員会規則の制定等については、定例の教育委員会に諮り、委員の意見を聞きながら、慎重かつ的確に審議した。
(8) 教育予算その他市議会の議決を経るべき議案について市長に意見を申し出ること	教育委員会関係の条例制定や一部改正、予算、工事の請負契約等について、教育委員会に諮り、意見を求めた。
(9) 法令に定める附属機関の委員の任免、委嘱又は解職に関すること	各課で委嘱している各種委員の任命及び委嘱について、法令で規定されているものを教育委員会に諮り、意見を求め、採決した。
(10) 学齢児童及び生徒の就学すべき学校の区域を設定し、又はこれを変更すること	該当事例なし
(11) 教科用図書を選択すること	令和4年度に中学校において使用する教科用図書について教育委員会に諮り、採決した。

## 2 教育委員会が管理及び執行を教育長に委任する主な事務

基本 目標	基本 政策	個別目標	具体的事務事業	評価	No	担当課
魅力ある ひとづくり	健やかな ひとづくり	未来を切り 拓く子ども たちの育成	学校図書整備	B	1	学校教育課
			学校教育振興会	B	2	〃
			学校改築	A	3	〃
			小学校・中学校施設維持管理	A	4	〃
			学校給食の充実	A	5	学校給食センター
			平川市教職員研修	A	6	指導課
			英語検定料補助金	A	7	〃
			学力向上対策（学習支援員配置）	A	8	〃
			指導主事による学校訪問	B	9	〃
			いじめ防止対策	B	10	〃
			放課後子ども教室	B	11	生涯学習課
	生涯にわたるスポーツ ライフの推進	軽スポーツ巡回教室	B	12	スポーツ課	
		平川市スポーツ大会派遣補助金	B	13	〃	
		トップアスリートサッカー教室	B	14	〃	
		陸上競技場公認更新改修工事	A	15	〃	
	こころ豊かな ひとづくり	知識と経験 があふれる 生涯学習の 推進	ひらかわの寺子屋	B	16	生涯学習課
			定例おはなし会	B	17	平賀公民館
			図書館利用促進事業	B	18	平川市図書館
		感性をはぐ くむ芸術文 化の振興	公共ホール音楽活性化	B	19	文化ホール
			文化財保護	A	20	生涯学習課
			郷土資料館	B	21	郷土資料館

# 事務事業評価表

事業 No. 1

事務事業名	学校図書整備	担当課	学校教育課
-------	--------	-----	-------

## 1. 概要

平川市 長期総合プランの体系	基本目標	1 魅力あるひとづくり
	基本政策	1 健やかなひとづくり
	個別目標	2 未来を切り拓く子どもたちの育成
	主要施策	1 学校教育環境の充実
事業年度	令和3年度	
事業の目的	読書から得られる集中力、認識力等の醸成に資するため、文部科学省の定める「学校図書館図書標準」を基に、学校図書の充実に向けた整備を行う。	

## 2. 実施方法・実績

### 【実施方法】

文部科学省の定める「学校図書館図書標準」を基に、充足率の低い学校から重点的に予算配分し、充足率を高める。

- ◆実績額合計 ・小学校 2,115,442円 ・中学校 1,458,620円
- ◆学校図書標準充足率 ・小学校 98% (前年96%) ・中学校 82% (前年78%)  
全学校 92% (前年90%)
- ◆絆会より12万円の寄附を受け、充足率の低い松崎小学校と大坊小学校へ6万円ずつ配分し、図書の購入費に充てた。

小学校名	実績額	充足率	中学校名	実績額	充足率
金田	143,000円	102%	尾上	340,243円	82%
猿賀	308,682円	93%	平賀西	479,423円	81%
柏木	99,990円	83%	平賀東	342,966円	84%
大坊	460,988円	89%	碓ヶ関	295,988円	80%
小和森	155,870円	114%	計	1,458,620円	82%
松崎	529,001円	92%			
竹館	73,974円	107%			
平賀東	123,970円	100%			
碓ヶ関	219,967円	94%			
計	2,115,442円	98%			

【事業費】 事業費総額 3,574千円 (うち国・県補助 0千円)

## 3. 評価

<b>B</b>	国の定める「学校図書館図書標準」を目標に、各校で図書の整備がなされたが、依然として充足率の低い学校がある。蔵書の老朽化の状態も勘案しながら、継続的に充足率を高めており、さらなる学校図書の充実を図る必要がある。
----------	--

# 事務事業評価表

事業 No. 2

事務事業名	学校教育振興会補助金	担当課	学校教育課
-------	------------	-----	-------

## 1. 概要

平川市 長期総合プランの体系	基本目標	1 魅力あるひとづくり
	基本政策	1 健やかなひとづくり
	個別目標	2 未来を切り拓く子どもたちの育成
	主要施策	2 生きる力をはぐくむ学校教育の充実
事業年度	令和3年度	
事業の目的	平川市立小・中学校間の連携強化に関わる事業及び部活動等の大会派遣に対し補助金を交付することにより、学校教育・スポーツ・文化芸術の振興に寄与する。	

## 2. 実施方法・実績

### 【実施方法】

部活動等の大会派遣に対する補助金交付のほか、市内小・中学校間の連携事業に係る事業（小学校陸上競技大会、学校音楽発表会、文集ひらかわ、学校保健会、児童・生徒作品展）に対する補助金の交付を行う。

### 【実績】

事業名	実績額	備考
① 部活動等の大会派遣費	3,401,500円	※ 延べ49大会
②連携事業費	小学校陸上競技大会運営費	0円
	学校音楽発表会運営費	0円
	文集ひらかわ	400,000円
	学校保健会	57,000円
	児童・生徒作品展	79,622円
計	3,938,122円	

【事業費】 事業費総額 3,938千円（うち国・県補助 0千円）

## 3. 評価

<b>B</b>	<p>小・中学校間の連携事業は新型コロナウイルス感染症の影響により、小学校陸上競技大会や学校音楽発表会が中止となっているが、他の事業については、職員の意欲的な取り組みにより学校間の連携強化が図られた。</p> <p>また、部活動の大会派遣費は補助金の活用により、スポーツ・文化の振興に寄与することができ、保護者の負担軽減が図られた。</p>
----------	--

# 事務事業評価表

事業 No. 3

事務事業名	学校改築	担当課	学校教育課
-------	------	-----	-------

## 1. 概要

平川市 長期総合プランの体系	基本目標	1 魅力あるひとづくり
	基本政策	1 健やかなひとづくり
	個別目標	2 未来を切り拓く子どもたちの育成
	主要施策	1 学校教育環境の充実
事業年度	令和3年度	
事業の目的	老朽化した学校の改築を行い、安全安心な教育環境を維持する。	

## 2. 実施方法・実績

### 【実施方法】

耐力度調査実施により危険改築の要件を満たした校舎及び屋内運動場について、設計業務を行う。

設計が完了した施設は、国庫補助（負担金及び交付金）等を活用して工事を実施している。

### 【実績】

#### (1) 碓ヶ関小学校改築事業

委託料（監理業務）	13,090,000円
工事請負費（校舎改築工事）	696,982,000円
工事請負費（ICT環境整備工事）	5,284,400円
備品購入費	19,954,000円
事務費	470,486円
合計	735,780,886円

【事業費】 事業費総額 735,781千円（うち国補助 377,761千円）

## 3. 評価

A	<p>本事業で、碓ヶ関小の改築工事が工期内に完成し、安全安心な教育環境を維持することができた。</p> <p>今後も計画どおりに事業を実施し、工期内に完成するよう業者との連携を密にし、教育環境の充実を図っていく。</p>
---	--

# 事務事業評価表

事業 No. 4

事務事業名	小学校・中学校施設維持管理	担当課	学校教育課
-------	---------------	-----	-------

## 1. 概要

平川市 長期総合プランの体系	基本目標	1 魅力あるひとづくり
	基本政策	1 健やかなひとづくり
	個別目標	2 未来を切り拓く子どもたちの育成
	主要施策	1 学校教育環境の充実
事業年度	令和3年度	
事業の目的	学校施設の不具合が生じた箇所を工事・修繕し、安全安心な教育環境の維持管理に努める。	

## 2. 実施方法・実績

### 【実施方法】

電気設備や消防設備、遊具などは、定期的に保守管理を行い、状況把握に努める。  
また、学校施設や備品の破損等については、速やかに状況を確認し、緊急度・優先度の高いものから修繕等を実施する。

### 【実績】

#### (1) 小学校の主な工事・修繕

空調設備設置工事	71,285,000円	
柏木小学校トイレ洋式化改修工事	9,539,200円	
竹館小学校トイレ洋式化改修工事	10,604,000円	
小学校高圧気中開閉器・地中継電器更新工事	3,036,000円	
修繕料	7,844,643円	竹館小学校門柱タイル修繕ほか
小学校総合計	102,308,843円	

#### (2) 中学校の主な工事・修繕

空調設備設置工事	8,027,800円	
碓ヶ関中学校大規模改修工事	683,678,600円	
平賀西中学校樹木及び工作物撤去工事	1,505,900円	
平賀西中学校トイレ洋式化改修工事	10,701,900円	
修繕料	8,919,940円	碓ヶ関中仮校舎関係ほか
中学校総合計	704,886,618円	

【事業費】 事業費総額 807,195千円（うち国補助 千円）

## 3. 評価

<b>A</b>	<p>碓ヶ関中学校の大規模改修工事を実施したほか、空調設備設置工事やトイレ洋式化工事などを行い、教育環境の充実を図ることができた。</p> <p>学校施設の修繕については、施設や設備の点検結果のほか、学校からの要望を受けて現地確認を行うなど、優先順位を決めて計画的に実施した。</p>
----------	--

## 事務事業評価表

事務事業名	<b>学校給食の充実</b>	担当課	学校給食センター
-------	----------------	-----	----------

### 1. 概要

平川市 長期総合プランの体系	基本目標	1 魅力あるひとづくり
	基本政策	1 健やかなひとづくり
	個別目標	2 未来を切り拓く子どもたちの育成
	主要施策	1 学校教育環境の充実
事業年度	令和3年度	
事業の目的	ぬくもりのある学校給食を提供するため、衛生管理の徹底などが円滑に行えるよう管理運営体制の充実を図るとともに、第2次平川市食育推進計画に掲げられた、地元農産物利用率の目標値20%の達成を目指す。	

### 2. 実施方法・実績

#### 【実施方法】

- ①栄養士等による調理員に対する衛生管理指導を実施するほか、調理業務受託業者による衛生管理研修会を行い、調理員の衛生管理に関する知識と意識付けによって、衛生管理の徹底を図る。
- ②地元農産物利用率目標達成のため、農家などから直接購入できるよう農産物供給者を募集して、地元農産物の利用を促進しながら、子どもたちに喜ばれる魅力的な給食献立の創意工夫に努める。

#### 【実績】

- ①衛生管理の徹底、調理員の意識向上により食中毒防止が図られ、効率的に業務に取り組み、給食を定時に提供できた。
- ②野菜などの生産農家に地元農産物供給者として登録をしてもらい、直接食材を購入するなど、地元農産物の利用促進を図ったところ、野菜及びりんご等の使用量が増加し、地元産農産物利用率の目標値20%を達成することができた。

#### ①学校給食センター食数等

基本食数 (令和3年5月1日現在)	令和3年度 給食日数	令和3年度 総食数
2,346食/日	204日	447,799食

#### ②農産物利用率

年 度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
地 元	16.8%	18.1%	16.0%	19.2%	19.5%	20.2%
県内(地元含む)	64.3%	63.6%	65.5%	62.9%	63.4%	62.5%

【事業費】 事業費総額 263,512千円（うち国・県補助 0千円）

### 3. 評価

<b>A</b>	<p>衛生管理等の徹底を図ることにより、ノロウイルス感染症及び食中毒等の発生を予防でき、安全安心な給食を各小中学校へ遅延なく提供することができた。</p> <p>地元農産物利用率については、食材卸売業者から地元産食材を優先的に購入したり、市内の農家から直接野菜等を購入したことにより、前年度に比べ使用量が増加し、目標値20%を達成することができた。</p> <p>今後、安全安心な給食を提供するため、引き続き地元並びに県内農産物の利用に努め、利用率を維持していく必要がある。</p>
----------	---



# 事務事業評価表

事業 No. 6

事務事業名	平川市教職員研修	担当課	指導課
-------	----------	-----	-----

## 1. 概要

平川市 長期総合プランの体系	基本目標	1 魅力あるひとづくり
	基本政策	1 健やかなひとづくり
	個別目標	2 未来を切り拓く子どもたちの育成
	主要施策	1 学校教育環境の充実
事業年度	令和3年度	
事業の目的	教員としての専門性を高め、資質の向上を図ることにより、授業を核にした生き生きとした学級づくりの推進に資するとともに、学校運営への参画意欲を高め、平川市の学校教育の活性化を目指す。	

## 2. 実施方法・実績（具体的に記載）

### 【実施方法】

市内の小・中学校教職員を対象とした研修会、講座を実施する。

### 【実績】

管理職及び管理職として期待される教員には、その自覚と学校運営に参画する意欲を高めることができた。

また、学級担任等には、ICTの活用や学級経営で求められる明確な視点が与えられたことにより、教科指導や生徒指導の指導力向上を図ることができた。加えて、参集、オンライン等、状況や意図に合わせた形態での研修等を実施することもできた。

講座名	実施年月日	参加者	実施形態
平川市教職員合同着任式講演	中止		
平川市教師力向上講座①	令和3年5月31日	19名	オンライン
平川市小・中学校教職員全員研修講座	令和3年7月27日	184名	オンライン
平川市夏季研修講座	令和3年8月2日	30名	参集
平川市教師力向上講座②	令和3年9月16日	22名	オンライン
幼保小連携研修	令和3年12月24日	38名	参集
教頭・教務主任会議（兼教育課程研修）	令和4年1月21日	26名	参集
特別支援教育担当者会議（同上）	令和4年1月25日	26名	参集
研修主任会議（兼校内研究推進研修）	令和4年2月3日	13名	オンライン

【事業費】 事業費総額 39千円（うち国・県補助 0千円）

## 3. 評価

<b>A</b>	<p>新型コロナウイルス感染予防対策やオンライン授業等実施のスキル向上のため、一部の実施形態をオンラインとしたり、会議に研修内容を盛り込んだりして、学力向上、ユニバーサルデザインを生かした学級・授業づくり、カリキュラムマネジメントなど、学習指導要領の趣旨を踏まえた内容の他、特別支援教育に関わる内容等教育課題に即した講座を開催し、講義や演習を通して市内教員の資質向上を図った。今後も実態を踏まえて、より実践的な研修内容を工夫し、教員の指導力向上を図っていく必要がある。</p>
----------	--

# 事務事業評価表

事業 No. 7

事務事業名	英語検定料補助金	担当課	指導課
-------	----------	-----	-----

## 1. 概要

平川市 長期総合プランの体系	基本目標	1 魅力あるひとづくり
	基本政策	1 健やかなひとづくり
	個別目標	2 未来を切り拓く子どもたちの育成
	主要施策	2 生きる力をはぐくむ学校教育の充実
事業年度	令和3年度	
事業の目的	英語検定料を補助することで、受検機会を増やし、英語意欲を高め、平川市の中学生に係る英語力の底上げを図る。	

## 2. 実施方法・実績（具体的に記載）

<p><b>【実施方法】</b> 英語検定3級、4級を受検する生徒の保護者（申請者）に対し、準会場（学校を会場とするもの）検定料の3分の2の額を補助する。 ※文部科学省及び青森県では、3級以上の英語力のある生徒を5割とする育成を目標としている。</p> <p><b>【実績】</b> 準会場（学校を会場とするもの）の検定実施となった7月、10月、1月に合わせて年3回、また塾や校外会場（オンライン等）にて受検した者に対して補助金交付を行った。3級受検者83名のうち補助申請者は68名、4級受検者57名のうち補助申請者は42名であった。</p> <p><b>【事業費】</b> 事業費総額 297千円（うち国・県補助 0千円）</p>
--

## 3. 評価

<b>A</b>	<p>令和2年度から実施した事業である。令和元年度の3級と4級の受検者数は、165名、合格率は約66.1%。令和2年度の3級と4級の受検者数は、171名、合格率は73.7%。令和3年度の受検者数は、140名、合格率は76.4%であった。受検者数については、コロナ禍の影響により1月の受検者数が大幅に減少したため、前年度から減少となっているが、合格率については向上してきている。数字のみで全てを計ることはできないが、意欲のある生徒が受検できる機会が増え事業の効果が表れた側面であると捉えている。また、受検者数に対する補助申請者数、補助申請率を見ると、令和2年度は62.0%、令和3年度は78.6%となっている。申請様式等の改善で事業効果も高まってきていると考えられるので、今後も事業の周知を含め、更に事業効果が高まるように努めていく。</p>
----------	--

# 事務事業評価表

事業 No. 8

事務事業名	学力向上対策（学習支援員配置）	担当課	指導課
-------	-----------------	-----	-----

## 1. 概要

平川市 長期総合プランの体系	基本目標	1 魅力あるひとづくり
	基本政策	1 健やかなひとづくり
	個別目標	2 未来を切り拓く子どもたちの育成
	主要施策	1 学校教育の環境の充実
事業年度	令和3年度	
事業の目的	市内全小・中学校に学習支援員を配置し、個に応じたきめ細かな指導の充実を図り、子どもたちの学力向上を目指す。	

## 2. 実施方法・実績（具体的に記載）

### 【実施方法】

学習支援員19名を、すべての小・中学校に1～2名配置し、授業における個別支援に努めるほか、中学校においては長期休業中も学習支援を行う。

適切な支援の在り方についてスキルアップを図るため、各種訪問時等において必要な指導・助言を行う。

### 【実績】

小学校9校では各校の実態に合わせて、学力向上重点学年や教科（主に算数）に応じて配置し、学級担任との連携のもと支援を行った。

中学校4校では、主に数学、英語を中心として教科に応じた配置を行い、学習理解の程度に合わせた個別支援を行った。

支援員19名（小学校12名、中学校7名）	
報酬（時給1,100円）＋期末手当	17,185,081円
通勤手当(対象18名)	1,101,300円
総支給額	18,286,381円

※その他、共済費（雇用保険、労務災害保険）は人事支出によるため明記なし。

【事業費】 事業費総額 18,286千円（うち国・県補助 0千円）

## 3. 評価

<b>A</b>	<p>子どもたちに発言を促したり、気付いていない視点を示したりするなど、児童生徒一人一人の実態を把握し、個に寄り添いながら学習意欲を引き出すなど、学ぶ楽しさを実感させ、基礎学力の定着・向上が図られた。</p> <p>学級担任等との連携を一層充実させるために、管理職等に有効な活用の仕方について指導・助言するとともに、支援員の確保や個々の支援員の資質向上を更に図るよう努めていく。</p>
----------	---

# 事務事業評価表

事業 No. 9

事務事業名	指導主事による学校訪問	担当課	指導課
-------	-------------	-----	-----

## 1. 概要

平川市 長期総合プランの体系	基本目標	1 魅力あるひとづくり
	基本政策	1 健やかなひとづくり
	個別目標	2 未来を切り拓く子どもたちの育成
	主要施策	2 生きる力をはぐくむ学校教育の充実
事業年度	令和3年度	
事業の目的	指導主事が直接学校を訪問し、学校運営等に関わる現状把握と諸問題解決について指導・助言を行う。	

## 2. 実施方法・実績（具体的に記載）

### 【実施方法】

計画訪問、要請訪問（学校からの要請）、生徒指導訪問（長期休業明け及び必要に応じた随時の訪問）を実施する。

### 【実績】

#### ①計画訪問

各校の教育課題への取組状況を把握するとともに、授業への具体的な指導・助言をし、授業力向上に寄与できた。

#### ②要請訪問

授業実践に対する具体的な指導・助言を通して、教員の研修意欲を高めることができた。

#### ③生徒指導訪問

計画的な訪問、必要に応じた随時の訪問を通して、児童生徒の状況を把握し、問題行動等の未然防止、事案対処に資することができた。長期休業明けに市内全小中学校を訪問し、長期休業中の児童生徒の行動についての実態把握及び対応への指導・助言により、問題行動の減少といじめ防止等の効果的な取組について共通理解を図ることができた。

#### 学校訪問実施状況

訪問内容 / 実施月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月
計画訪問		1校	9校	3校						
要請訪問						1校	3校	8校	1校	
生徒指導訪問	随時	随時	随時	随時	13校	随時	随時	随時	随時	13校

【事業費】 事業費総額 24千円（うち国・県補助 0千円）

## 3. 評価

<b>B</b>	平川市学校教育指導の方針と重点を確実に伝達するとともに、校内研修が一層充実するよう、コロナ禍においても実施方法を工夫しながら、具体的かつ適切に指導・助言を行った。今後も、学習指導要領全面実施に伴い、教育課程の管理や授業改善等についての指導・助言を継続していく必要がある。
----------	---

# 事務事業評価表

事業 No. 10

事務事業名	いじめ防止対策	担当課	指導課
-------	---------	-----	-----

## 1. 概要

平川市 長期総合プランの体系	基本目標	1 魅力あるひとづくり
	基本政策	1 健やかなひとづくり
	個別目標	2 未来を切り拓く子どもたちの育成
	主要施策	3 学校・家庭・地域の連携
事業年度	令和3年度	
事業の目的	市、学校、家庭、地域住民、その他関係機関と連携し、いじめ防止等の対策を総合的かつ効果的に推進する。	

## 2. 実施方法・実績（具体的に記載）

<p><b>【実施方法】</b></p> <p>(1) 定期的な指導主事訪問等で各校のいじめ防止等への取組状況を把握し、必要に応じて指導・助言をする。</p> <p>(2) 各校にいじめ等に係る報告書を毎月提出させるとともに、特に、保護者対応（いじめの報告）や暴力行為への対応等について必要に応じて指導・助言をする。</p> <p>(3) 各校にインターネットトラブル事例集（第6版）をデータ配付し、ネットによるいじめの発生を未然に防ぐよう、保護者への周知・啓発について指導する。</p> <p>(4) 平川市いじめ問題対策連絡協議会と平川市いじめ防止対策審議会を運営し、関係機関との連携を図る。</p> <p><b>【実績】</b></p> <p>各校におけるいじめ問題に関する理解が深まり、いじめの積極的認知や早期対応に繋がり、いじめ防止対策を推進することができた。また、関係機関との連携やインターネットトラブル事例集（第6版）のデータ配付等により、ネットトラブルに係る情報を各校に提供することによって、現在増えてきているネットトラブルの未然防止にもつなげることができた。</p> <p><b>【事業費】</b> 事業費総額26千円（うち国・県補助 0千円） 審議会等26,000円、インターネットトラブル事例集（改訂版）0円</p>
---

## 3. 評価

<b>B</b>	いじめ問題に関する理解が深化したことにより、いじめを早期に発見し、解消に向けた取組に繋げることができている。引き続き、いじめ防止の実効性を高めるために関係機関との連携を強化するとともに、いじめやその積極的な認知について保護者や地域住民への周知に努める必要がある。
----------	---

# 事務事業評価表

事業 No. 11

事務事業名	放課後子ども教室	担当課	生涯学習課
-------	----------	-----	-------

## 1. 概要

平川市 長期総合プランの体系	基本目標	1 魅力あるひとづくり
	基本政策	1 健やかなひとづくり
	個別目標	2 未来を切り拓く子どもたちの育成
	主要施策	3 学校・家庭・地域の連携
事業年度	令和3年度	
事業の目的	放課後の子どもたちの安全安心な活動拠点（居場所）を設け、地域の方々の協力を得て、子どもたちとともに体験活動や地域住民との交流活動等の取り組みを実施することにより、子どもたちが地域社会の中で、心豊かに健やかに育まれる環境づくりを推進する。	

## 2. 実施方法・実績

<p><b>【実施方法】</b>          協働活動支援員や協働活動サポーター（地域のボランティア団体）に運営を依頼し、「読み聞かせ」、「ものづくり」、「レクリエーション」、「スポーツ」教室などを開催し、計画的に活動拠点（居場所）を確保している。</p> <p>(1) わくわくひらかわ教室（平賀・尾上地区） 年9回（あみまつハウス）          (2) わくわく碓ヶ関教室（碓ヶ関地区） 年7回程度（h&amp;fプラス）          (3) わくわく遊び体験教室（放課後児童クラブと連携） 年1回（あみまつハウス、市内児童クラブ）</p> <p><b>【実績】</b>          わくわくひらかわ教室を文化センター、わくわく碓ヶ関教室を碓ヶ関公民館で実施した。</p> <p>(1) わくわくひらかわ教室 開催回数5回 対象者37名（平賀26名、尾上11名）          (2) わくわく碓ヶ関教室 開催回数6回 対象者23名          (3) わくわく遊び体験教室 開催回数1回 対象者40名          ※わくわくひらかわ教室については、先着順の募集とした。</p> <p><b>【事業費】</b> 事業費総額 201千円（うち国・県補助 133千円）</p>
--

## 3. 評価

<b>B</b>	<p>本事業は、地域の大人や他校の子どもたちが、様々な体験や交流ができる重要な場となっている。新型コロナウイルス感染症の影響により、人と人との距離を保ちながらの活動であったため、協力し合う場面は少なかったが、様々な体験活動により、気付きや考える力が養われた。</p> <p>例年、「わくわくひらかわ教室」の申込者の大半が平賀・尾上地区となっていたことから、令和3年度から市内全域の子どもたちが参加できるよう、新たに碓ヶ関地区を対象とした「わくわく碓ヶ関教室」を開催し、各回15名程度の参加があった。</p>
----------	---

# 事務事業評価表

事業 No. 12

事務事業名	軽スポーツ巡回教室	担当課	スポーツ課
-------	-----------	-----	-------

## 1. 概要

平川市 長期総合プランの体系	基本目標	1 魅力あるひとづくり
	基本政策	1 健やかなひとづくり
	個別目標	3 生涯にわたるスポーツライフの推進
	主要施策	2 スポーツ・レクリエーション活動の充実
事業年度	令和3年度	
事業の目的	市民スポーツ推進のため、市民の要望に応じ平川市スポーツ推進委員を派遣し、軽スポーツの指導及び普及を図る。	

## 2. 実施方法・実績

### 【実施方法】

市民の要望に応じた出前教室を26名のスポーツ推進委員が実施する。

- ①広報、ホームページによる事業の周知
- ②軽スポーツを希望する団体からの申請受付
- ③スポーツ推進委員の調整
- ④スポーツ推進委員の派遣
- ⑤実績報告・謝金支払

### 【実績】

内容	件数	参加者	推進委員	備考
体操教室	5	83	10	町居保育園3件、中央こども園2件

【事業費】 事業費総額 25千円（うち国・県補助 0千円）

## 3. 評価

<b>B</b>	<p>平川市スポーツ推進委員を講師に、市民の要望に応じた出前教室を行うことで、スポーツへの親しみが深まり、市民のスポーツ意識と健康意識の向上につながっている。令和3年度はコロナ禍により、21件が中止となっている。</p> <p>今後は、プログラムを充実させるため、オリジナルルールを考えるなど、年齢に関わらず広く市民に軽スポーツを通じたスポーツの普及に努める。</p>
----------	--

# 事務事業評価表

事業 No. 13

事務事業名	平川市スポーツ大会派遣補助金	担当課	スポーツ課
-------	----------------	-----	-------

## 1. 概要

平川市 長期総合プランの体系	基本目標	1 魅力あるひとづくり
	基本政策	1 健やかなひとづくり
	個別目標	3 生涯にわたるスポーツライフの推進
	主要施策	3 夢に向かう競技スポーツの推進
事業年度	令和3年度	
事業の目的	市内小・中学生のスポーツ活動及びスポーツ少年団の振興を目的に、東北大会・全国大会などに参加するための交通費等一部経費を助成する。	

## 2. 実施方法・実績

### 【実施方法】

市内小・中学生が県大会等の成績により、東北大会・全国大会などに参加するための交通費等一部経費（学校教育振興会補助金交付要綱対象者を除く）を助成する。

- ①東北や全国大会の出場権を得た個人または団体から申請を受ける。
- ②スポーツ課で精査した後、財政課に提出し交付決定される。
- ③申請者より請求を受け補助金を交付する。
- ④大会終了後、申請者より実績報告を受け補助金を精算する。

助成金（小学生）：東北（秋田・岩手） 10,000円、北海道、南東北（宮城・山形・福島） 15,000円、関東、甲信 20,000円、北陸、東海 25,000円、近畿 40,000円、中国 45,000円、四国 55,000円 九州 60,000円、沖縄 70,000円

助成金（中学生、監督等）：東北（秋田・岩手） 10,000円、北海道、南東北（宮城・山形・福島） 25,000円、関東、甲信 35,000円、北陸、東海 45,000円、近畿 75,000円、中国 80,000円、四国 100,000円 九州 120,000円、沖縄 130,000円

### 【実績】

申請種目	交付件数	交付人数	支給額
ソフトボール	1	13	900,000
ソフトテニス	1	4	70,000
卓球	1	1	10,000
バドミントン	2	4	90,000
ボクシング	2	2	35,000
体操・新体操	1	1	10,000
剣道	1	2	67,660
バレーボール	1	6	426,000
軟式野球	1	1	20,000
計	11	34	1,628,660

【事業費】 事業費総額 1,629千円（うち国・県補助 0千円）

## 3. 評価

<b>B</b>	<p>令和3年度は本補助金を活用し、小・中学生選手（監督・コーチを含む）34名が東北大会・全国大会に出場しスポーツに対する意欲向上につながった。令和3年度は蔓延防止等重点措置などにより、交付実績は令和2年度よりも増加したもののコロナ前に比べ低い状況である。</p> <p>今後は、広報紙や市ホームページ等のほか、学校へポスターを配布するなど、制度の周知を図り、多くの児童・生徒に補助金が交付されるよう努める。</p>
----------	--



# 事務事業評価表

事業 No. 14

事務事業名	トップアスリートサッカー教室	担当課	スポーツ課
-------	----------------	-----	-------

## 1. 概要

平川市 長期総合プランの体系	基本目標	1 魅力あるひとづくり
	基本政策	1 健やかなひとづくり
	個別目標	3 生涯にわたるスポーツライフの推進
	主要施策	3 夢に向かう競技スポーツの推進
事業年度	令和3年度	
事業の目的	日本や世界で活躍したトップアスリートによるサッカー教室を開催することにより、トップアスリートとの交流と専門的指導による競技の普及や底辺拡大、ならびに参加者の意識や競技力向上を図り、競技人口の拡大に繋げる。	

## 2. 実施方法・実績

<p><b>【実施方法】</b>          ひらかドームにおいてサッカー教室を開催した。          ①マネージメント会社を通し、講師を調整し斡旋してもらう。          ②講師によるサッカー教室を実施する。</p> <p><b>【実績】</b> 鈴木隆行氏（元鹿島アントラーズ所属・日本代表として55試合に出場）を講師として招き、市内在住または市内のクラブ等に所属する小中高生を対象に1日2回サッカー教室を実施した。（午前：中高生31名、午後：小学生71名 募集人数：各回80名）</p> <p><b>【事業費】</b> 事業費総額 2,066千円（うち国・県補助 0千円）</p>
--

## 3. 評価

<b>B</b>	<p>参加者は講師の指導のもと熱心に実技に取り組み、意識や競技力の向上、トップアスリートとの交流が図られた。また、未経験者も対象としたことから、競技の普及や底辺拡大に繋がった。</p> <p>しかしながら、参加者が募集人数に達しなかったことから、事業の周知徹底について、より効果的な方法を検討する必要がある。</p>
----------	--

# 事務事業評価表

事業 No. 15

事務事業名	陸上競技場公認更新改修工事	担当課	スポーツ課
-------	---------------	-----	-------

## 1. 概要

平川市 長期総合プランの体系	基本目標	1 魅力あるひとづくり
	基本政策	1 健やかなひとづくり
	個別目標	3 生涯にわたるスポーツライフの推進
	主要施策	1 運動施設の環境整備と利活用
事業年度	令和3年度	
事業の目的	市民の競技力向上や生涯スポーツ、健康づくり、レクリエーションの場として、陸上競技場を改修工事し4種L(ライト)の公認に更新し、安全・安心に努め、効率的な利活用を図る。	

## 2. 実施方法・実績

### 【実施方法】

平川市陸上競技場は日本陸上競技連盟第4種公認の競技場であるが、公認期間が平成28年12月1日から令和3年11月30日までとなっていたため、公認を更新するための改修工事を実施した。今回は、新たに新設された第4種L(ライト)として公認更新を図るため、円盤サークルの撤去や新ルールに適用するためのウレタン舗装新設工事などを行った。また、第4種Lに必要な備品を購入した。

### 【実績】

令和3年度

- 工事期間：令和3年7月22日～令和3年12月17日
- 請負業者：有限会社八木橋建設
- 施行内容：撤去工（円盤サークル）  
路面舗装工（ウレタン舗装新設等）  
付帯施設工（舗装止め縁石工、ラインマーキング等）  
備品（槍・ソフトコーン等）
- 請負金額：11,022千円
- 公認期間：2021年（令和3年）12月1日  
～2026年（令和8年）11月30日（5ヵ年）

## 3. 評価

<b>A</b>	陸上競技場を改修したことにより、安全・安心な運動施設の環境が整備された。また、第4種L(ライト)の公認を取得したことで今後もよりよいスポーツ環境を提供し、競技力向上や生涯スポーツ・健康づくり・レクリエーションの場としてさらなる利活用が図られるよう努める。
----------	---

# 事務事業評価表

事業 No. 16

事務事業名	ひらかわの寺子屋	担当課	平賀公民館
-------	----------	-----	-------

## 1. 概要

平川市 長期総合プランの体系	基本目標	1 魅力あるひとづくり
	基本政策	2 こころ豊かなひとづくり
	個別目標	5 知識と経験があふれる生涯学習の推進
	主要施策	1 年代に応じた多様な学習機会の提供
事業年度	令和3年度	
事業の目的	生涯にわたって自らが輝き続けるために、講演や文化芸術活動への参加を通して現代社会に適応できる教養を身に付けるとともに、その知識等を積極的かつ自主的に地域活動に活かせるひとづくりを行うものである。	

## 2. 実施方法・実績

【実施方法】 ※令和元年度より「平成の寺子屋」から「ひらかわの寺子屋」へ名称変更

20歳以上の市民を対象に、現代社会に適応する教養を身に付けるための講座や移動学習会等を開催する。講座終了後は、次回以降の参考とするためアンケートを実施している。

### 【実績】

○開催回数：講演会6回、移動学習会0回、体験教室4回、計10回

○参加者数：延べ81人（男性23人、女性58人）

アンケートの結果、参加者の感想はおおむね良好であり、内容については好評である。

開催日	内 容	人数	開催日	内 容	人数
6/5	ウィービングタペストリーを作ってみませんか？①	5人	8/7	考える時は今 生命保険のキホン	14人
			10/16	プロに学ぶ生垣教室！	10人
6/12	ウィービングタペストリーを作ってみませんか？②	6人	11/6	初めて手話を学ぶ方へ！①	6人
			11/13	初めて手話を学ぶ方へ！②	7人
6/19	ウィービングタペストリーを作ってみませんか？③	6人	11/20	初めて手話を学ぶ方へ！③	6人
			12/4	突然の災害にそなえよう	6人
7/10	お山の恵みを楽しもう！山菜料理の話っコ！	15人			

【事業費】 事業費総額 136千円（うち国・県補助 0千円）

## 3. 評価

<b>B</b>	<p>コロナ禍での開催となったが、講座内容の変更や日程変更、また、定員を減らすことで、10 講座の学びの場を提供することができた。また、より深く学習することを目的に、連続した 3 回の講座（ウィービングタペストリー・手話）を開催するなどの取り組みも、好評であった。</p> <p>3 回の講座については、中止をせざるを得なかったが、今後はオンラインを活用した事業を計画するなど、コロナ禍の中でも実施できる工夫が必要である。</p>
----------	---

# 事務事業評価表

事業 No. 17

事務事業名	定例おはなし会	担当課	平川市図書館
-------	---------	-----	--------

## 1. 概要

平川市 長期総合プランの体系	基本目標	1 魅力あるひとづくり
	基本政策	2 こころ豊かなひとづくり
	個別目標	5 知識と経験があふれる生涯学習の推進
	主要施策	1 年代に応じた多様な学習機会の提供
事業年度	令和3年度	
事業の目的	<p>幼児から小学6年生の子どもたちを対象に読み聞かせを通して、読書に興味をもたせ、読書習慣を身に付けるようにするほか、これを機会に図書館の利用促進を図る。</p> <p>また、学区や学年が異なる子どもたちの相互交流の場にするほか、思い出づくりの一助となることを目的とする。</p>	

## 2. 実施方法・実績

### 【実施方法】

おはなし会は月例と時節に分けられるが、実施主体となる平川市読書推進運動協議会（おはなしこっこん）と連携して、テーマや内容を決定し、その内容に則した本を選書している。また、これまで夜に行っていた「夏の夜のおはなし会」は、感染防止の観点から昼(午後)の実施へ変更した。

周知方法では、広報や市ホームページへの掲載の他、図書館内や市内各小学校、こども園等へのポスターの掲示、チラシの配布等を行っている。

なお、月例でも申込み制を取り入れてはいるが、当日、申込の無い参加者がまれにいることから、中止しないようにしている。

### 【実績】

コロナ感染状況により休館や中止となり、感染防止対策をとりながら開催できたのは以下のとおり。

#### ・月例おはなし会

開催数/参加人数 平賀図書館：4回/12名、尾上図書館：6回/10名

#### ・時節おはなし会

開催数/参加人数 平賀図書館：3回/61名、尾上図書館：2回/20名、碓ヶ関公民館1回/15名

#### ・体験型おはなし会

中止(休館期間中)

【事業費】事業費総額 126千円（うち国・県補助 0千円）

講師等謝金	67,200円	消耗品費(おかし代含)	58,297円	支出計	125,497円
-------	---------	-------------	---------	-----	----------

## 3. 評価

B	<p>コロナ禍により休館や事業中止となったことから計画どおりの開催が出来なかった中で、月例・時節とも参加者数が前年度より増えた。</p> <p>引き続き、感染防止対策を講じながら開催するとともに、特に月例おはなし会の参加者が増えるよう目を引くポスター・チラシの作成など周知方法を工夫し事業を継続していきたい。</p>
---	--

# 事務事業評価表

事業 No. 18

事務事業名	図書館利用促進事業	担当課	平川市図書館
-------	-----------	-----	--------

## 1. 概要

平川市 長期総合プランの体系	基本目標	1 魅力あるひとづくり
	基本政策	2 こころ豊かなひとづくり
	個別目標	5 知識と経験があふれる生涯学習の推進
	主要施策	2 生涯学習環境の整備
事業年度	令和3年度	
事業の目的	図書館の目的は、図書、記録、その他必要な資料を収集・整理・保存し、利用者の教養・調査研究・レクリエーション等に資することである。上記の目的のため、平賀図書館・尾上図書館・碓ヶ関公民館図書コーナーの適切な蔵書管理と利用拡大を図ることを目的とする。	

## 2. 実施方法・実績

### 【実施方法】

限られた予算の中で蔵書の充実を図るため、平賀・尾上両館では重複購入をなくするほか、無償資料の収集に努めている。また、両館にない資料は、県内相互貸借システムにより、他館から取り寄せて貸し出しを行うなどし、利用者の要望に応じている。

また、テーマに応じた「展示」コーナーを設け、魅力ある図書の紹介に努めた。利用者拡大に向け各種事業では、例年どおり計画していたが、感染状況による図書館の休館や事業中止を余儀なくされ、ほとんどの事業は出来なかった。

### 【実績】

	年度	購入 (冊)	寄贈 (冊)	その他 (冊)	貸出人数 (人)	貸出冊数 (冊)
平賀	2	1,839	643	13	9,916	43,771
	3	1,622	669	2	7,570	37,078
尾上	2	1,006	261		3,314	11,556
	3	787	130	1	2,649	10,418
碓ヶ関	2		2		92	203
	3				100	211

【事業費】 事業費総額 7,484千円（うち、指定寄付100千円）

講師謝礼	0円	消耗品費	965,659円	通信運搬費	232,330円	備品購入費	3,917,536円
記念品	286,160円	燃料費	0円	使用料	2,045,762円	負担金	36,000円

## 3. 評価

<b>B</b>	碓ヶ関図書室への購入本が、発注及び納品後の登録等の手続きの遅れから年度内配置ができなかったことが反省点であるが、9月の休館中に蔵書点検を前倒して両館職員合同で実施したり、1月末からの休館では展示や配列の再整理や本の修復を重点的に行うなど、通常の業務ではあるがより細かく行うことができた。 今後は、利用減少が大きい尾上図書館に対し、選書はもちろん、平賀図書館から配置換えを行うなど、蔵書の充実を進めながら利用者増につなげたい。
----------	---

# 事務事業評価表

事業 No. 19

事務事業名	公共ホール音楽活性化	担当課	文化ホール
-------	------------	-----	-------

## 1. 概要

平川市 長期総合プランの体系	基本目標	1 魅力あるひとづくり
	基本政策	2 こころ豊かなひとづくり
	個別目標	6 感性をはぐくむ芸術文化の振興
	主要施策	1 芸術文化活動の振興
事業年度	令和3年度	
事業の目的	一般財団法人地域創造の事業である「公共ホール音楽活性化事業」を活用し、現在活躍している音楽演奏家を招へいして学校でのアウトリーチ（ホール外での演奏）及びコンサートを行い、音楽を身近なものとともに、感受性や創造性を高めることを目的とする。	

## 2. 実施方法・実績

<p><b>【実施方法】</b>          一般財団法人地域創造による助成事業を活用。出演者は、登録アーティストの中から選定。          (H28：ピアノ、H29：ピアノ、H30：金管五重奏、R1：プラスバンド、R2：ピアノとマリンバ)          R3の選定にあたっては、過去のアンケート結果で、弦楽器の実施を望む声が多かったため、ヴァイオリンとピアノ伴奏の組合せとした。前年度と同様にアウトリーチを6回とし、市内学校に案内したところ、応募が多数であった。より多くの生徒・児童に体験してもらいたいため、過去のアウトリーチの実施状況を踏まえ選考した。          学校を訪問するアウトリーチでは、新型コロナウイルス感染症の拡大防止の観点から密集を回避するため、実施場所を昨年に引続き体育館とした。</p> <p><b>【実績】</b>          出演アーティスト：早稲田桜子（ヴァイオリン） &amp; 早稲田眞理（ピアノ）          アウトリーチ先：10月6日 猿賀小学校1・2年生 44名 大坊小学校4～6年生 27名          10月7日 竹館小学校4年生 18名 松崎小学校4年生 22名          10月8日 金田小学校6年生 52名          (H29=122名 H30=222名 R1=221名 R2=154名 R3=163名)          コンサート：10月9日 文化センターにて 163人 (346席限定で販売)          (入場者数 H29=コンサートなし H30=287人 R1=433人 R2=138人)</p> <p><b>【事業費】</b> 事業費総額 1,169千円          (うち国・県補助 0千円 その他：地域創造助成金500千円 入場料177千円)</p>
--

## 3. 評価

<b>B</b>	<p>アウトリーチについては、これまでの音楽室での実施と比較すると、体育館での実施は、空間が広すぎるため、『身近さ』や『一体感』が薄れるかに思われたが、子どもたちは演奏に聴き入っており、感動を与えることができた。</p> <p>コロナ禍にあり、事業本来の目的である「音楽を身近なものとする」という部分が薄れてしまうことはやむを得ない部分もあるが、より効果的な実施方法について情報収集し、工夫していく必要がある。</p>
----------	---

# 事務事業評価表

事業 No. 20

事務事業名	文化財保護	担当課	生涯学習課
-------	-------	-----	-------

## 1. 概要

平川市 長期総合プランの体系	基本目標	1 魅力あるひとづくり
	基本政策	2 こころ豊かなひとづくり
	個別目標	6 感性をはぐくむ芸術文化の振興
	主要施策	2 文化財の保存と継承
事業年度	令和3年度	
事業の目的	文化財保護法、平川市文化財保護条例に基づき、各種指定文化財を保護・保存するため、必要な事業を行うものである。	

## 2. 実施方法・実績

<p><b>【実施方法】</b></p> <p>(1) 所有者が実施する指定文化財の保存整備事業等に対し、補助支援を行う。</p> <p>(2) 埋蔵文化財包蔵地（遺跡）での開発調整を行い、保護に努める。</p> <p>(3) 文化財パトロールや火災防ぎょ訓練等を行い、文化財保護の意識向上を図る。</p> <p>(4) 無形民俗文化財保存団体に対する補助支援や各種催事への出演斡旋に努める。</p> <p>(5) 文化財標柱・説明板を更新し周知に努める。</p> <p><b>【実績】</b></p> <p>所有者が実施する「国名勝清藤氏書院庭園保存整備事業」（国庫補助）及び無形文化財保存団体（市補助）に支援したほか、文化財標柱の更新、文化財パトロール、埋蔵文化財開発調整（発掘調査・試掘調査）等を行った。</p> <p><b>【事業費】</b> 事業費総額 17,801千円 ※文化財保護費決算18,387千円のうち （うちその他特定財源16,171千円、大光寺新城跡発掘調査事業）</p>
--

## 3. 評価

A	<p>国指定文化財所有者や無形民俗文化財保存団体に対して補助支援し、国名勝清藤氏書院庭園の復旧工事を終了した。</p> <p>今後も市内に残る貴重な文化財の保護・保存や世代交代による円滑な継承の支援に努める必要がある。</p>
---	---

# 事務事業評価表

事業 No. 21

事務事業名	郷土資料館	担当課	郷土資料館
-------	-------	-----	-------

## 1. 概要

平川市 長期総合プランの体系	基本目標	1 魅力あるひとづくり
	基本政策	2 こころ豊かなひとづくり
	個別目標	6 感性をはぐくむ芸術文化の振興
	主要施策	2 文化財の保存と継承
事業年度	令和3年度	
事業の目的	平川市郷土資料館条例に基づき、郷土の歴史、民俗、芸術、産業及び自然に関する調査、教育、研究、資料の収集、保管及び展示に関する事業を行うものである。	

## 2. 実施方法・実績

### 【実施方法】

- (1) 資料の適切な保管と展示を行う。
- (2) 展示会などの普及啓発事業を行い、郷土に関する学習の機会を提供する。
- (3) 収蔵資料の貸出や講師派遣による学校教育の支援を図る。

### 【実績】

種別	事業名	開催場所	観覧・参加人数
展示会	美術作品展 佐藤清蔵・清明絵画展	文化センター	99名参加
	平川市の宝	文化センター	268名参加
	県立郷土館巡回展	文化センター	486名参加
見学会	ひらかわ歴史散歩～碓ヶ関編～	碓ヶ関	10名参加
講座	ひらかわ文化財講座	文化センター	62名参加
体験学習	藍染バックづくり	文化センター	10名参加
	縄文組ひもづくり	文化センター	4名参加

その他、学習機会の支援として、柏木小学校と大坊小学校の文化センター資料展示コーナー見学に際し、展示解説を行った。

【事業費】 事業費総額 ※585千円（うち国・県補助 0千円）※文化財保護費決算18,387千円のうち

## 3. 評価

<b>B</b>	<p>コロナ禍の影響により一部の事業を中止せざるを得なかったものの、可能な範囲で歴史や文化財などについて見識を深める機会を提供できた。また、平成30年度から令和2年度まで行われた弘前大学との共同研究で得られた知見の成果をオンラインも併用して発表し、貴重な郷土資料の適切な保管と文化財を活用した当市の魅力発信につなげることができた。</p>
----------	---